

令和4年度 第3回港区区政会議 防災・防犯部会 議事録

1 日 時 令和5年2月27日（月）午後7時～

2 場 所 港区役所5階会議室

3 出席者（委 員）対面：伊東委員、山岸委員

WEB：北山委員、田口委員

（関係者）対面：淀川左岸水防事務組合港区防潮本部 原田氏

港警察署 木下氏

WEB：危機管理室 金谷氏

大阪港湾局 藤田氏

港消防署 牧野氏

（港区役所）山口区長、若林副区長、花立協働まちづくり推進課長、  
五十嵐安全・安心まちづくり担当課長代理、  
西堂総合政策担当課長、細江公民地域連携担当課長

- 4 議 題 （1）港区まちづくりビジョンの改定について  
（2）令和5年度運営方針（案）について  
（3）令和5年度予算（案）について  
（4）その他

○五十嵐安全・安心まちづくり担当課長代理 皆様、こんばんは。

定刻となりましたので、ただいまより令和4年度第3回港区区政会議防災・防犯部会を開催します。

司会を務めます協働まちづくり推進課の五十嵐です。どうぞよろしくお願いします。

区政会議につきましては、区政会議の運営の基本となる事項に関する条例の規定により、委員の定数の2分の1以上の出席により成立するとされています。この出席の規定について、この場に出席されている会議の委員や関係者のほか、オンラインでの参加も含むものとなっております。

それでは、現在の出席状況をご報告します。

委員の定数が7名のところ、ただいまオンライン参加も含めて4名のご出席をいただいております。委員の2分の1以上の出席がございますので、本会議が有効に成立していることをご報告します。

また、本会議は公開とし、後日議事録を公開するため、会議を録音させていただきます。ご発言の際は必ずマイクをご使用ください。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、皆様に検温やマスクの着用、手指の消毒、咳エチケットをお願いしています。座席はできるだけ間隔を空け、換気のため出入口も開放しています。マイクの受渡しも事務局が都度消毒を行いますので、ご協力をお願いいたします。会議中、少しでも体調が優れないようなことがございましたら、ご遠慮なくおっしゃってください。

では、座って説明をさせていただきます。

資料の確認をします。

本日の次第、それから資料一覧表、この資料になります。事前に送らせていただいております資料、1月27日送付分がA-1、大阪市港区まちづくりビジョン概要版、本編、A-2がまちづくりビジョン概要版、本編の令和4年版を参考に送らせていただいております。B-1、令和5年度港区運営方針（案）、B-2、（別紙）「令和5年度港区運営方針（案）」主な戦略における具体的取組、B-3、令和4年度港区運営方針、これは参考版になります。C-1が区政会議で特にご意見を求めたい内容一覧、C-2が区政会議に関するご意見シート。

その後、2月20日に送付させていただきました事前配付資料が、区政会議で特にご意見を求めたい内容に対する委員からのご意見及び区役所の対応・考え方（令和4年度第3回）、それから令和4年度第3回港区区政会議「事前意見内容と区役所の対応・考え方」、最後に、

D－１、令和５年度港区関連予算（案）概要、D－２、区長自由経費、令和５年度予算事業（案）の一覧、D－３、区CM自由経費、令和５年度予算事業（案）の一覧となっています。

そして、本日、当日配付資料としまして、防災・防犯部会委員名簿、配席図、その他資料として、区政会議に関するご意見、個別避難計画の作成を進めています。

○北山委員 すみません、北山です。ごめんなさい、お話途中で申し訳ないです。リモートの参加の者ですけれども、会場の音声が入っていないので、ごめんなさい、ちょっと途中で申し訳ないですが、設定をしていただいてもよろしいですか。こちら全く音声が聞こえないです。

○五十嵐安全・安心まちづくり担当課長代理 どうですか、聞こえますか。聞こえていない。どうですか、聞こえますか。

○北山委員 今、聞こえました。申し訳ありません。

○五十嵐安全・安心まちづくり担当課長代理 いえいえ、すみません。こちらの不手際で申し訳ございませんでした。

○北山委員 とんでもございません。

○五十嵐安全・安心まちづくり担当課長代理 今、資料一覧表のご確認をさせていただいておりました。途中からでもよろしいですか。

○北山委員 はい、ごめんなさい。ありがとうございます。

○五十嵐安全・安心まちづくり担当課長代理 その他資料として当日配付をさせていただきます資料が、区政会議に関するご意見、個別避難計画の作成を進めています、3.11防災マルシェ、港区地域と企業の防災研修会、最後に、大阪市特殊詐欺対策機器貸与事業、以上が本日使用いたします資料の全てになります。

もし、今の資料で不足などがありましたら挙手をしていただきましたら、お手元までお持ちさせていただきますが、よろしいでしょうか。

ウェブの方につきましても、資料をデータで送らせていただいていますので、それに沿って進めさせていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

では、本日は、議題１として、港区まちづくりビジョンの改定について、議題２、令和５年度運営方針（案）について、議題３、令和５年度予算（案）について、議題４、その他となっています。

全て説明は短めに、議論や質疑を長めにとってまいりたいと考えていますので、ご協力をお願いいたします。

それでは、議題に入る前に、山口区長からご挨拶を申し上げます。

○山口区長 皆さん、こんばんは。

本日は平日のお仕事や、またご家庭の用事でお忙しい時間帯にもかかわりませず来ていただいております。

今年度第3回目の区政会議防災・防犯部会ということで、本日は港区のまちづくりビジョンの改定や令和5年度の運営方針（案）や予算（案）についてご意見をいただきたいと考えております。

防災に関しましては、各地域で避難所の開設訓練や学習会、小学校での防災授業なども再開し始めておりまして、私も幾つか参加させていただきました。例えば港晴地域で、八幡屋のインテックアリーナの上まで一旦逃げようとするときに、やっぱり年配の方が上まで登れません。でも、実際、そんなことでは津波が来てしまうわけで、やはり訓練を通じて体感することは大事だなというふうに感じています。また、八幡屋地域では、外国の方が避難所に来た場合というケースで、スマホのアプリで翻訳をしたりしながら受入れの訓練もしていただいたところです。発災時には、本当に観光客の方も増えていますし、どのような方が来られるかというのは予想ができませんので、区役所も引き続き、いろんな方に対応できるような、避難者に対応できるシステムづくりというのを考えていきたいと思っておりますが、来年度、地域、それぞれの地域でのますますの防災訓練、そういった取組が進むことも期待しているところです。

また、防犯につきましては、とにかく特殊詐欺が増え続けておりまして、そこに対応するための録音機器を65歳以上の高齢者の方に無償で貸し出す事業が12月から始まっております。港警察さんともしっかり連携をして、被害防止に取り組んでおりますので、もしこの方、電話がかかってきたらお一人で暮らして対応できるかが心配だなというような方がいらっしゃったら、ぜひお声かけをいただけたらと思っております。受付は区役所または港警察署でも行っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、限られた時間ではありますが、いろんな発言いただけたらうれしく思っておりますので、今日はどうぞよろしくお願いいたします。

○五十嵐安全・安心まちづくり担当課長代理 それでは、本日は穴吹議長がご欠席ですので、山岸副議長にこの後の議事進行をお願いいたします。

○山岸副議長 皆さん、こんばんは。

それでは、副議長として初めて進行役を務めさせていただきます山岸です。今年度3回目

の区政会議の部会ですので、皆様、ご協力よろしくお願いいたします。

今回の会議では、先ほど司会からもございました港区まちづくりビジョンの改定について、運営方針（案）、予算（案）などについてご検討いただきます。区民の意見やニーズを区政に反映していくためにも、積極的にご意見をいただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、議題に入ってまいります。

議題１、港区まちづくりビジョンの改定についてと議題２、令和５年度運営方針（案）について、議題３、令和５年度予算（案）について一括して区役所より説明をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

○花立協働まちづくり推進課長 協働まちづくり推進課長の花立です。私からご説明申し上げます。

事前に資料をお送りし、ご一読いただいておりますので、説明はごく簡単にさせていただきます。

まず、港区まちづくりビジョンの改定についてです。

資料Ａ－１をご覧ください。なお、資料Ａ－２が現行の港区まちづくりビジョンとなっています。

説明については、新たに加筆された内容を説明させていただき、時点修正の資料は省かせていただきます。

まず、今回の改定では、個別避難計画の策定について新たに書き加えています。今日の当日配付資料の配席図の次に、黄色のチラシをつけさせていただいております。個別避難計画の作成を進めていますというチラシです。そちらをご覧ください。

このチラシで、まず個別避難計画について簡単に説明をさせていただきます。

個別避難計画は、高齢者や障がい者など、自力での移動や情報の入手が困難であるなど、災害時に何らかの支援が必要となることが考えられる人、要援護者の災害時の逃げ遅れを防ぐために作成する計画です。

このチラシの下の方の段の要援護者名簿（つながり名簿）とはをご覧ください。

個別避難計画策定の対象者は、高齢者や障がい者などの要援護者のうち、個人情報について地域の見守りを行うに当たって関係者で個人情報を共有することに同意をいただいている人、すなわち、ここに書かれていますつながり名簿の掲載者となります。港区では約２,８００人が対象となっています。

個別避難計画は、このような個人情報の共有について同意をいただいている要援護者お一人お一人に避難先、避難の手助けをする方、配慮が必要なことなどを記載します。大阪市では自主防災組織、港区の場合は地域活動協議会が作成し、区役所に提出する手順となっています。

個別避難計画策定の背景としましては、近年の災害において多くの高齢者や障がい者の方々が犠牲になっていることがあります。そこで、令和3年5月に災害対策基本法が改正され、個別避難計画を策定することが市町村の努力義務となり、おおむね5年で作成することを目指しています。大阪市では今年度から個別避難計画の策定に取り組んでおり、港区では全11地域一斉に取り組むのではなく、モデル地域から取り組みを始めることとし、現在、南市岡地域において個別避難計画の策定に取り組んでいます。

今後、モデル地域での取り組みの検証を行い、区内の各地域へ広げていき、最終的には全地域で個別避難計画の策定をします。

それでは、港区まちづくりビジョンの15ページを見ていただけますでしょうか。資料A-1の15ページでございます。

15ページには、2、安全・安心・快適なまちづくりの現状と課題が書かれています。その上から丸チョボでずっとあるのですが、その5段目です。5つ目の丸です。そこに、個別避難計画の策定など避難行動要支援者への避難支援に重点的に取り組んでいく必要がありますと書き加えております。こちらが新たに加わった項目となっています。

17ページをご覧ください。

下から5行目が、②災害時避難行動要支援者対策の推進の項目がございます。そこにもこの避難計画を計画的に作成することを加えています。

次に、18ページをご覧ください。こちらに新たに加えた項目が幾つかあります。

まず、④多文化共生の視点の防災の推進、⑤女性視点の防災の推進、⑥事業者と連携した防災の推進は、いずれも今回新たに加えた項目となっています。

次に、19ページをご覧ください。

19ページの上から7行目、⑧津波浸水時の区を超えた避難計画（災害時避難所の確保）も新たに加えた項目です。海溝型地震により津波浸水した場合、災害時避難所である学校が大阪湾のヘドロをかぶった状態になり、避難所として機能確保が困難となり、災害時避難所が不足することが想定されるため、津波浸水していない区外に災害時避難所を確保し、区を越えて2次避難をする計画を昨年3月に策定したのですが、その計画に基づいた避難が可

能となるよう取組を行うことを書き加えています。

防災については以上です。

続いて、防犯についてです。

防犯については、近年、特殊詐欺の被害が増えていることから、特殊詐欺についての記載を増やしています。

記載箇所は20ページの上から2行目、また下から4行目及び3行目に特殊詐欺について、これまでも特殊詐欺という言葉は入れていたのですが、少し詳しく書き加えています。

続いて、22ページ、一番下の④番、2025年大阪・関西万博に向けた環境美化をご覧ください。

万博開催に向けて美しいまちの実現に向け、啓発や美化活動の促進を行うことを書き加えています。

ビジョンに追加された項目については以上です。

引き続き、資料B-1をご覧ください。令和5年度港区運営方針（案）です。

こちら、1枚目の裏側をご覧ください。2ページ目になります。

経営課題2、安全・安心・快適なまちづくりをご覧ください。

今回、様式が簡素化され、本部会に関する運営方針はこの部分のみとなっています。防災・防犯に関わっては、課題認識にありますとおりのいろいろな課題があるのですが、アウトカム指標としましては、防災1つ、防犯1つを設定しています。

防災については、災害時に地域で助け合うことができると思うと回答した割合を令和8年度末までに70%以上にするという目標です。5年度の目標は、70%を年次で割り戻して計算して、62%としており、区民モニターアンケートの結果がこの3月に出てくる予定となっています。なお、令和4年度は57.4%でしたので、なかなか高い目標になっています。

防犯につきましては、区内の街頭犯罪発生件数を令和8年度末まで毎年度継続して前年度以下にするということです。毎年減らしていくという目標にしています。ここ数年は毎年前年度を下回っていますが、今年度は、昨年度215件だったのですが、それを上回る見込みとなっています。

続いて、令和5年度の予算についてです。

令和5年度も、基本的には令和4年度を取組を継続して実施するものがほとんどですので、区役所からは令和4年度と令和5年度で増減がある分についてのみご説明させていただきます。

資料はD－1ですので、後日、2月20日に追加でお送りしているところに入っている資料です。D－2をご覧ください。一覧表になっている分です。

○北山委員 中断してしまって申し訳ありません。ごめんなさい。先ほどからリモートのほうが音声は全く聞こえないです。

今、聞こえました。途中申し訳ありません。

○花立協働まちづくり推進課長 D－2をご覧ください。

こちらの表の5番、防災対策事業が約20万円減額となっていますが、減額は一番右の欄を見ていただいたら20万円、増減というところの欄があるのですが、そこで20万円減ってきています。20万円減額となっていますが、これは防災啓発物品の在庫があることから、来年度に限って購入を減らすという結果でございます。

なお、防災につきましては、防災対策事業とは別途、防災アドバイザーに係る予算が約153万円ございまして、それは地域活動協議会の中間支援を行うまちづくりセンターに係る経費で、この表の3番、新たな地域コミュニティ支援事業に含まれています。まちづくりセンターがこれまでの地活協への支援に加えて防災アドバイザーを配置して、地域の自主防災組織の学習会や防災訓練の支援を行っています。

続いて、6の地域防犯・安全対策事業が20万円増額となっています。こちらは、万博開催に向けた迷惑駐車対策啓発経費です。こちらについては、啓発物品を20万円で購入する予定で、今、どういうものがあるか検討しているところですが、防災にも役立つ簡易トイレを購入してはどうかと検討しているところです。

防犯に関しては以上です。

続いて、細江課長より、歩行や移動の安全性の確保についてご説明を申し上げます。

○細江公民地域連携担当課長 公民地域連携担当課長の細江と申します。

私のほうからは、歩行や移動の安全性の確保につきまして、港区まちづくりビジョンのほうから、また戻る形になって恐縮ですけれども、こちらのほうから説明させていただきます。

まちづくりビジョンの改定案の22ページをご覧ください。

私のほうから、今回、変更点のみということで、バリアフリーの推進のところをご説明させていただきます。

交通バリアフリーの実現に向けた取組、特に43号線の横断の部分で取り組んできたところでございますが、今回、国道の地下道のエレベーター整備のほうは令和7年完成予定という



ことで行っているところではございますが、大阪国道事務所からも、現在の状況としまして、施工業者が決定しまして、今後工事着手、4月頃から準備工に入って、令和5年度から本格的に現地のほうの工事に入る段取りで進んでいると聞いているところでございます。

また、（４）の生活環境の向上と改善のところも、国道43号の沿道環境の改善に向けた取組の推進ということで書かせていただいておりますが、前回のビジョンからの改定部分としては、国道43号横断施設のバリアフリー化の推進というところを追記しています。国道43号の横断施設といいますのは、地下道の部分もありますが、特に今回、ＪＲ弁天町駅の改良工事の計画が発表されて以降、大阪ベイトワーとＪＲ弁天町駅の北改札口を結ぶ横断歩道橋部分のバリアフリー化の改善も、地域の皆様からも含めていろいろ要望もいただいているところもございますので、そちらのほうの改善につきましても追記させていただいた次第です。

あと、令和5年度の予算事業（案）の一覧のほうの説明に移らせていただきます。

資料D-2のほうですが、番号29の大阪市高速電気軌道株式会社と連携した国道43号車いす横断支援事業ということで、こちらにつきましても、国道の地下道のエレベーター整備の完了までの暫定措置として取り組んでいるところでございますが、令和5年度予算としましては、1万2,000円の減額という形にはなっておるところでございますが、この減額の部分につきましては、過去の利用実績であるとか、事務経費の見直しで、利用回数に応じた実績での支払いというところもありますので、1万2,000円の減額という形にはなっていますが、必要な支援は後退することなく、利用者の希望がある場合は対応する形で取り組んでいきたいと考えておりますので、ご了承のほどお願いいたします。

私のほうからは以上になります。

○花立協働まちづくり推進課長 事務局からのご説明は以上でございます。

○山岸副議長 ありがとうございました。

それでは、ただいまの説明について、ご意見、ご質問を賜りたいと思います。どなたか何かご意見ございますでしょうか。

ちょっと書類が、あちらこちら見たりで、私も目線のほうがきょろきょろしていたのですが、私も、今回説明いただきまして、一番関心を持たせていただいたのが個別避難計画の作成の部分ですけれども、もちろんこれは介護が必要な方、支援が必要な方ということで、防災についての支援ということもありますが、今、防犯のほうでもきっといろんな心の不安を抱えておられる方がこの名簿に名前が入る方じゃないかなと思いますので、防犯の面でもこの名簿は生きてくるのではないかなというのをすごく感じさせていただきました。も

もちろん個人情報ということもありますので、なかなか入り込んでの防犯のほうのご支援は難しいかもしれませんが、よき相談相手といたしますか、時々ご様子どうかなということでお話をしに、積極的にしにいく一つの手がかりといたしますか、つながりに本当にいいのではないかなというのを感じました。

○花立協働まちづくり推進課長　ありがとうございます。

つながり名簿という名前がついているのですが、そちらについては、港区では見守りマップという取組を先駆的にやっています、関係者が地図上で気になる人がここに住んでいますね、この人はこういった方ですよという情報を共有するということをしています。そういった日頃の見守りが港区はしっかりされていて、その日頃の見守りを災害時でも活かしていこうというのが個別避難計画になっています。

また、防犯の取組についても、例えば特殊詐欺もそうですが、最近の事例でいいますと、催眠商法の店が港区内で開店したのですが、その注意喚起をするに当たっては、福祉のネットワーク、ネットワーク委員さんとかそういった日頃つながり名簿の対象者となつながつている方、そういった方のネットワークを通じて注意喚起をしていただきました。それに当たっては社会福祉協議会さんとか、そういった福祉関係のネットワークの方々にご協力いただきました。

○山岸副議長　ありがとうございます。

ほかにどなたか。ご意見というよりも、こういうのがよかったなというのとか、あと、もうちょっと深く説明してほしいというところがありましたら、どなたかちょっとお声出していただいたらうれしいなと思います。いかがでしょうか。

ちょっと聞き取りが難しかったかもしれませんが、リモートで参加していただいています北山さん、もしよろしければ何かご意見ございませんでしょうか。

○北山委員　港区障がい者地域自立支援協議会の北山です。

音声どうでしょうか。私の声は聞こえておりますでしょうか。ありがとうございます。

個別避難計画のことについて少しお話をさせていただけたらと思うのですが、今月2月に障がい者地域自立支援協議会のほうで、協働まちづくり推進課の担当者に来ていただきまして、個別避難計画の説明と、あと、港区での発災時にどんなことが起こるのか、またそれにどう備えればいいのかというところの概要をお話いただきました。要支援者名簿というところの個人情報の提供についてというところも一つネックになるので、なかなか各自治体の地域の皆様におかれましては、このつながり名簿の取扱いですとか、個人情報をどう今後取

扱いしていったらいいのかというところが一つネックにはなってくると思うのですが、やはり個別避難計画の策定については、要援護者名簿のほうに名前を載せていいと思っている人と、なかなかちょっとそこはどうだろうと思っている方もたくさんいらっしゃいます。なので、かなり必要なものになってくると思いますので、ぜひ個別避難計画のことにつきましては、策定について具体的な進捗ですとか、あとはその必要性というところで周知に今後とも力を入れていただきたいなと思いますし、また、地域自立支援協議会のほうも、各施設さんですとか福祉関係者の皆様にも地域の皆様とつながるという形でこちらから出向いていくということが大切であるということで、そのときは研修としてさせていただいていましたので、意見としてよろしく願いいたします。

以上です。

○山岸副議長　ありがとうございます。これに対していかがでしょうか。

○花立協働まちづくり推進課長　ありがとうございます。

まず、つながり名簿にまだ同意をしていただけていない方についてですが、個別避難計画を通して、まさにこういった災害時に助けてくれるのであれば載せたいということにもつながると思いますので、個別避難計画の推進に当たっては、新たに同意を取っていくきっかけにもしていきたいと考えています。

それから、周知については、今、まさに南市岡地域をモデルとして、港区としてどういうやり方で進めればスムーズにいくかということをやっているとして、その成果が一定出てきましたら、それを広くいろんな機会に周知させていただきたいと思っています。

○山岸副議長　ありがとうございます。

では、ほかに、どなたか何かご意見ございましたら。

私はアウトカム指標というのを、今回こういうふうな形で結果をいろいろ判断していくといいですか、いろいろ評価をしていくという中で、防災についてなんですけれども、区民モニターアンケートにおいて避難時に地域で助け合うことができると思うと回答した割合を8年度末までに70%以上にするというところ、ちょっとどきとしながら、防災を担当していますので思っていたのですけれども、これは本当に災害の大きさによるというのをすごく感じました。もちろん先日あったような大きな災害ではちょっと地域ではしんどいですが、震度5前後の災害でしたら、皆さんに安心して助け合いで地域で頑張っていこうという、そういうパーセンテージ70は目指せるかなと思っているんですけれども、本当に大きい災害になったら、トルコのようなあんな大きい災害になったら70%はちょっと厳しいなと思いな

がら、今回読ませていただきました。

ほかに何かご意見ございませんでしょうか。

では、もし無いようでしたら、議題4のその他について、区役所より説明をお願いしたいと思います。

○花立協働まちづくり推進課長 引き続き私のほうから、ご説明申し上げます。

区政会議で特にご意見を求めたい内容につきましては、津波を伴う海溝型地震への対策についてのご意見をいただき、こちらについては一番最初の事前配付資料に入っていたかと思っています。ご意見をいただき、ご意見については区役所の対応・考え方をお送りさせていただいています。

またその後、追加の質問がございまして、本日の配付資料の中にございますので、こちらについて説明させていただきたいと思います。

当日配付資料の中に、区政会議に関するご意見ということで、横書きの表がございしますが、ありますでしょうか。区政会議に関するご意見。今日、当日配付資料として机の上に置かせていただいていた束の中にございます。よろしいですか。

こちらについては、ご意見は、名簿を使った強盗事件について注意すべきことはどんなことがあるのかということでした。ご自宅とかに見知らぬ訪問者が来た場合は、たとえその方が警察官や区役所の職員や、また銀行等の事業者を名のったとしても、ドアを開けず、インターフォンでの対応をするということがございます。また、アポ電強盗という、名簿を使って事前に電話をかけて、いろんな状況を確認し把握した上で強盗に押し入る犯罪については、電話に録音装置を取り付けることが効果があります。大阪市では、区長の挨拶にもありましたように、65歳以上の希望者を対象に、電話機に取り付ける自動録音装置つき機器の無償貸出しを行っております。

本日の追加資料の中に、そのチラシを入れています。本日の追加資料の一番最後に、大阪市特殊詐欺対策機器貸与事業のチラシがございます。もし特殊詐欺について不安を感じられている方とか、そういう録音機が必要な方がお近くにおられましたら、ご案内をしていただきたらと思います。

また、警察の相談窓口としましては、その地域を管轄する警察本部などにつながる電話、#9110があります。

区政会議に関するご意見については以上です。

引き続き、当日配付資料にございます3.11港区防災マルシェについてご説明させていただ

きます。当日配付資料にある青色と黄色のチラシです。

こちらは、昨年度に引き続き、3月に開催する防災の取組です。防災マルシェと呼んでいます。今年度は3月11日が土曜日でしたので、3月11日に開催いたします。

昨年度はマンションコミュニティの防災を取り上げましたが、今年度は親子で楽しく参加できるということで、段ボールベッドの組立て体験、みなと防災紙芝居、みなと一周防災ゲーム、保存食を使った料理、災害ボランティアセンター体験コーナー、スタンプラリーなど、親子で楽しく時間を過ごせる、楽しく体験して防災を学べる内容となっております。

みなと一周防災ゲームにつきましては、港区で新たに立ち上げた、コミュニティ活動に若い人たちが参加する取組をしているユースのメンバーが、このみなと一周防災ゲームのブースを担当します。

また、地域活動協議会の取組の紹介コーナーも設けまして、防災を通して地域活動に関心を持っていただいて、地域活動に参加していただくきっかけになればと思っています。

チラシを1枚めくっていただきますと、白黒になるのですが、港区地域と企業の防災研修会にご参加くださいというチラシがあると思います。

こちらは、防災マルシェの日に同じく区民センターの2階で、地域の自主防災組織と企業の防災研修会を防災リテラシー研究所代表の太田先生をお招きして開催します。地域の防災力を高めるため、事業者と、事業者というのは防災サポーター企業という制度が港区にございまして、災害時に企業さんがいろんな人手を出したりとか、機材を出したりして助けてくださるという登録制度があるのですが、そういった事業者さんと自主防災組織に集まっていたいで交流もしていただき、災害時だけではなく、日常の地域活動でも連携していくきっかけにできればと思っています。企業さんについては既にもう15社の応募があつて、企業さんも地域とのつながりを求めているのだなと感じております。

以上でございます。

○山岸副議長 ありがとうございます。

それでは、ただいまの説明と、ここまで通しての質問だけではなくて、どんなご意見でも結構です。何かございましたらよろしくお願いします。

いろいろと説明、防災マルシェ等あったのですがけれども、私も今、実は質問もさせていただいていることもあるのですがけれども、港警察さんにいろいろ、特殊詐欺もそうですし、昨今少し気になっています、強盗じゃないですが、そういう恐ろしい事案が港区ではどうなっているのかなというのを少し知りたいなと思っているところですので、せっかくです

ので、この場で港区の今の事情といたら変ですけども、何かお聞かせいただくところがありましたら教えていただければと思います。よろしくお願いします。

○木下港警察署警部補 港警察の木下です。

お答えできる数字としては、強盗という部分では、港区内では今のところ発生はないです。ただ、特殊詐欺はやはり多いという話ですけども、港区内でも去年は12件、被害の認知はありまして、今年に入ってからもう対前年比では増加の傾向にあります。そういった意味でも、特殊詐欺とあと街頭犯罪についても説明があったのですけれども、令和4年中は増加という話なのですけれども、要因としては自転車盗が多いというところがあります。弁天町の駅前付近の自転車が盗られるとか、そういった形で街頭犯罪の数値が上がっているようなところはあると思います。現状としてはそういったところです。

以上です。

○山岸副議長 ありがとうございます。

強盗ですとか、そういう物騒なことがないということは、私個人では、警察の方が日頃やっぱりいろいろ見守ってくださっているといえますか、自転車で地域をいろいろ見守ってくださっている、そういうおかげじゃないかなと私は思っているのですけれども、もちろん警察の方もそうですし、私たちも目を光らせるというのはちょっと大げさな言い方ですけども、地域、住んでいるところの皆さんと協力して、不審者ですとか、そういう犯罪がないように気をつけていきたいなと思っております。

それでは、ほかにご質問等ございませんでしたら、時間も迫ってきているようですので、では、ここで一度進行役を戻させていただいてもよろしいでしょうか。

○五十嵐安全・安心まちづくり担当課長代理 では、こちらのほうで引き取ります。

山岸副議長様、議事進行ありがとうございます。それから、委員、関係者の皆様、円滑な会議運営にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

○山口区長 防災・防犯についての部会ということでご意見もいただき、ありがとうございます。やはり高齢の方がたくさん、これからもどんどん増え続けるという中で、特殊詐欺、次から次へといろんな手を出してくるというか、よく役所の職員の名前とか課の名前とか、もっともらしいことを言って、本当に次々よく考えるなと思うぐらい電話もよくかけてくるのですけれども、まずアポ電があったときに、ご近所同士で声がかかけ合えるかどうかというところ、あと、安まちメールをたくさんの方が受信していただいて、できるだけ高齢者の方に今、スマホ講座とかも一生懸命やっているのですけれども、それも防災の意味もあります

し、防犯の必要性も感じてお願いもしているところですので、また地域で高齢の方にぜひスマホを持ってほしいとか、こういった講座があるよということを周知していただけたらなというふうに思います。

もう一点、港区に来まして、道がいいので自転車を非常に皆さん飛ばすのですが、4月より自転車のときのヘルメットが努力義務ということで、皆さんもできるだけヘルメットをかぶったりとか、また特に高齢の方、気をつけて乗っていただきたいなと思いますし、また若者には、自転車でスマホを使っている若い子を目にたまに見ますので、ああいったところもどんどん注意喚起をしていこうと思っています。やっぱり安全・安心が一番の基本ですので、また皆さんにもご協力いただきながら進めていけたらと思います。

今日はありがとうございました。

○五十嵐安全・安心まちづくり担当課長代理 委員の皆様にはご案内を申し上げますように、3月10日金曜日午後7時より、港区区政会議全体会議をこの場所で開催します。本日使用しました資料につきましても全体会議で使用しますので、お手数ですがご持参いただきますようお願いいたします。

それでは、少し早いですが、これで令和4年度第3回港区区政会議防災・防犯部会を終了します。どうもありがとうございました。